

一般社団法人認知症改革推進協会 設立記念シンポジウム

認知症高齢者は2025年には700万人を超え、認知症予備軍を含めると1000万人に達すると試算されており、我が国の認知症問題は喫緊の課題となっております。政府は新オレンジプランを発表するなどし、医療的側面、生活的側面(介護視点)の両面から、官民が一体となり地域で支える体制整備を進めています。当協会では、認知症周辺症状を改善することに有効とされる治療法、改善セラピー、緩和ケア手法を確立し広く普及することを目的に設立致しました。この度、当協会の設立を記念して第1回目のシンポジウムを開催致します。来年4月に迫った医療・介護同時改定は医療機関・介護事業者にとって厳しい改定となることが予測されています。しかしながら、社会保障制度の将来に明るい光をさすこととなる革新的な取り組みが、介護保険制度において「自立支援介護」という形で試されようとしている。昨年11月に未来投資会議の場で、総理自らが「介護にパラダイムシフトをおこす」と明言し、「自立支援介護」を推進し、高齢者の自立支援を促し、要介護度改善にインセンティブを付与するという方針が発表された。この「自立支援介護」の政府の理論的支柱が国際医療福祉大学大学院の竹内教授であり、「竹内理論」であります。「竹内理論」では認知症ケアにおいても4原則が体系化されています。この度、第1回目のシンポジウムに、認知症改革を推進する試金石となる「自立支援介護」をテーマに竹内先生に登壇頂き、基調講演頂くこととなりました。

介護事業者、介護関連事業者、医療従事者の方々は必見です！！

開催日程

平成29年 **11月27日**(月) **13:30~17:00** (13:00開場)

会場

TKP赤坂駅カンファレンスセンター ホール13A

(東京都港区赤坂2丁目14-27 13階)

会費

1人 5,000円(当日支払い) ※懇親会では軽食をご提供致します。



◆特別基調講演 「認知症を治すケア—その理論、実践、成果」

竹内 孝仁(たけうちたかひと)教授

日本医科大学卒業後、東京医科歯科大学を経て、国際医療福祉大学院教授。日本ケアマネジメント学会理事、日本自立支援介護・パワーリハ学会理事長。

1973年から特別養護老人ホームに関わり、自立支援介護の先駆けとなる離床運動やオムツはずし運動などを展開。全国老人施設協議会で「おむつゼロ特養」を次々に誕生させると共に、日本自立支援介護・パワーリハ学会理事長として、自立支援介護の理論と実践を全国の介護現場に拡げる活動を展開している。超高齢社会の我が国において益々その重要性和社会的価値が高まっている自立支援介護のパイオニア。

プログラム

- ・ 13:30~13:40 理事長挨拶
- ・ 13:40~14:20 協会からの御案内
- ・ 14:20~14:30 休憩
- ・ 14:30~15:50 竹内先生基調講演
「認知症を治すケア—その理論、実践、成果」
- ・ 15:50~16:00 休憩
- ・ 16:00~17:00 懇親会



●東京メトロ千代田線 赤坂駅 5a出口 直結1分

一般社団法人認知症改革推進協会

設立の背景

認知症の蔓延で社会が抜き差しならなくなる前に
～英知を結集したソリューションが求められている～

全人的な予防・改善、治療・ケアの医学・療法、住み慣れた地域・環境で安心して生活を可能な持続的社会的システムの構築・普及が喫緊の課題

➡ 「日本認知症改革推進協会」設立の必然性

設立の趣旨・目的

- ・周辺症状(BPSD:徘徊・暴言・暴力・不潔行為等)による迷惑行為・問題行動を改善するのに有効とされる治療法、改善セラピーを結集させ、「EBM、“語りの重要性”」を確立し、広く普及。
- ・膨大な現存の認知症に関する情報・知見を、医療介護の専門の視点から独自に調査・考察をし、啓蒙活動等を通じ、“ケア/キユアの仕組み”を整理整頓し、一般に活用し易い質の高い情報「健康情報リテラシー」を、配信。
- ・現状医療現場の過剰検査・過剰投薬等弊害を指摘し、現状改革の「政策提言」
- ・課題克服の「先端研究開発促進及び新規事業化」の提言・推進支援を実施。

協会組織体制

【顧問団】

- 特別顧問:帯津 良一(帯津三敬病院名誉院長)
特別顧問:白川 太朗(元京大医学部教授、(医)法人白金会理事長)
特別顧問:大道 久(日大医学部名誉教授、日本医療経営学会理事長)
顧問:中込 敏寛((株)日本スウェーデン福祉研究所社長)
顧問:小林 敏世(ナチュロパス医師)
顧問:佐藤 俊彦((医)DIC宇都宮セントラルクリニック院長)
顧問:小川 眞誠(NPO日本心身機能活性療法指導士会理事長)
顧問:佐野 潔(米国財団法人野口研究所理事長)
顧問:永田 勝太郎((財)国際全人医療研究所理事長)
フェロー :藤野 武彦(九大医学部名誉教授、BOOCSサイエンス理事長)
フェロー :鎌田 實(諏訪中央病院 名誉院長)
フェロー :石飛 幸三(世田谷区立特別養護老人ホーム芦花ホーム常務医師)
フェロー :盛 宮喜(元日経メディカル編集長)

【執行部門】

- 理事長:野口 哲英((株)日本医療経営研究所代表)
副理事長:真田 昭男(ライフサイエンス研究所所長)
副理事長:高野 拓彌(高齢者生活支援機構理事長)
副理事長:松尾 厚二郎(スマートシニアソリューション総合研究所所長)
専務理事・事務局長:酒井 学雄((株)ライフエスタ社長)
理事:井上 祐宏(子孫へのラブレター協会代表)
理事:斉藤 正行((株)日本介護ベンチャーコンサルティンググループ代表取締役)
理事:根木 孝朗(NPO法人IHMA理事長)
監事:田辺 克彦(田辺総合法律事務所 代表)
監事:青木 恵一(青木会計 代表)

RLけあコン

下記枠内を記載の上、FAXにてご応募下さい。

FAX 03-6205-7658

| | | | | | | | |
|--------|------|----|--|-------------|--|----|--|
| 会社名 | | | | 業種 | | | |
| 住所 | | | | | | | |
| 氏名 | フリガナ | 役職 | | 参加者 合計人数 | | 名様 | |
| E-mail | | 電話 | | FAX | | | |

一般社団法人日本認知症改革推進協会
Japan Ninchi Revolution Association

(一社)認知症改革推進協会設立記念シンポジウム事務局
(株)日本介護ベンチャーコンサルティンググループ
TEL 03-6205-7657